

【第1回 学校運営協議会のまとめ】

令和4年5月24日実施

1 開 会

2 委員任命

3 自己紹介

4 会長、副会長の任命と選任

○会長：小田 正儀 ○副会長：松本みゆき

5 協議と承認

- | | |
|-------------------------|----|
| (1) 学校経営方針の承認 | 承認 |
| (2) 学校の現状報告 | 承認 |
| (3) 教育課程の承認 | 承認 |
| (4) 学校行事の計画について | 承認 |
| (5) 「至誠」育成プロジェクトチームについて | 承認 |

6 質疑応答（学校運営に関すること）

NO	意見及び質問事項 等	改善・対応策 等
1	・体育祭の実施日について、社会体育活動へ参加している生徒へ配慮されているが、年度当初の計画通り実施したらよいのではないか。	・社会体育活動へ参加している生徒が多数いるが、その中の多くの保護者から9月10日（土）体育祭開催の同意と出席確認がとれている。そこで、年度当初の計画通りの日程で準備を進めていく。また、観覧ありで実施したい。
2	・昨年度、コロナ禍により交流事業が実施できなかったが、今年は実施の方向で準備願いたい。	・市教委とも相談のうえ、コロナ感染対策を講じたうえで、事業を実施する方向で準備を進めておく。実施直前の段階で、コロナ感染状況を見極めて最終判断を行う。
3	・学校はブラック企業と言われるが、教員の残業時間の現状はどうか。仕事も大事であるが、家庭も大切にしてもらいたい。	・ノー部活デー、ノー会議デーの徹底及び定時退勤日の設定と実践することで、残業時間は減少している傾向である。
4	・生徒数がここ数年、横ばい状態のようであるが、小規模校だからこそ、生徒一人一人の得意分野を伸ばす取り組みを願いたい。	・子どもたち一人一人に焦点をあて、特性を見極めながら支援を行う。また、学校行事においては、一人一役の活躍の場を与え、自信と達成感を味わわせる。
5	・社会体育活動へ参加する生徒が増えているのが仕方ない部分もあるが、他校と合同で部活動を運営することが必要なのではないか。	・令和5年度から中学校体育連盟も夏の全国総体にクラブチームの出場を容認する方向となった。これにともない、今後の部活動は、地域へ移行がすすんでいく。学校で抱えるのではなく、地域で子どもたちを育てる環境づくりが大切になってくる。
6	・学校の統廃合の検討基準はあるのか。将来的に、生野中学校はどうあるべきなのか危惧する。	・現時点は検討する段階ではない。この協議会で検討議題となれば市教委へ進言していくこととなる。委員の総意では、地域から学校をなくしたくない思いである。
7	・子どもたちには、今の良い環境で育ててほしい。また、地域に根ざした教育をお願いしたい。	・ふるさと教育に重点をおき、ふるさと愛の醸成を図るため、生まれ育った生野に愛着と誇りを持たせる体験活動等の取組を継続していく。

7 「至誠」プロジェクトチーム（本年度の活動計画の立案）

（1）まごころ教育チーム

①本年度の目標

- 体育祭を地域と共に創り上げる
- 地域住民とのふれあいの機会を設ける

②推進内容

- 体育祭（9／10開催）の種目「生野踊り」への参加呼びかけ
- 自治協議会や老人会との連携

③推進計画

- 学校だより、ホームページ、区長会等で住民への啓発活動
- ふれあい事業（老人会との交流【グラウンドゴルフ交流】）

（2）学校支援・学力向上チーム

①本年度の目標

- 情報をまとめ、発信する力の育成

②推進内容

- ふるさと自慢映像大賞作成のサポート

③推進計画

- 生野銀山と共に発展してきた生野
- オオサンショウウオの棲む街
- *生徒の意見、方向性を見ながらシナリオ作りのお手伝い

（3）環境・安全チーム

①本年度の目標

- 子どもたちが安心して登下校できるような環境作りを手助けする

②推進内容

- 19（生野）の日への参加
- 小・中合同あいさつ運動
- 子ども110番の家の周知

③推進計画

- 19（生野）の日へ参加。自治協議会の方にも声をかける。
- 小・中合同あいさつ運動
- 子ども110番の家の周知のために地図を配布

8 朝来市学校運営協議会委員情報交換会

朝来市役所本庁舎 4F 会議室

令和4年7月13日（水）15：00～16：30

- 小田会長に出席を依頼する。

9 閉 会